

救命救急科を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	重症患者の急性期栄養療法における間接熱量測定の有効な活用法
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 天野哲也
研究責任者	救命救急科 准教授 苛原隆之
研究の対象となる方	2025年4月から2028年3月までに愛知医科大学病院救急ICU(以下EICU)に入室し、3日間以上の人工呼吸管理を行った患者さん
研究期間	研究実施承認日 ～ 2028年3月31日
研究目的及び利用方法	〔研究目的〕 重症患者に対する適切な栄養管理は患者治療の「屋台骨」として重要であり、種々のガイドラインが作成され臨床で実践されています。投与エネルギー量の決定に関しても、間接熱量測定の使用が推奨されているものの、その有効性や使用法に関しての知見が乏しく、未だ一般的には使用されていません。本研究では急性期栄養療法における間接熱量測定の有効な活用法を見出すことを目的としています。 〔利用方法〕 通常診療の中で、人工呼吸器に間接熱量計(E-COVX®およびQ-NRG®)を装着して間接熱量測定を行った結果、得られた測定値(消費エネルギー、呼吸商、糖質酸化量、脂質酸化量)と患者情報(年齢、性別、体格)、生理学的指標(バイタルサイン)、栄養指標(アルブミン)、炎症指標(プロカルシトニン、CRP, IL-6)の関係を解析します。具体的には、データを急性期(入室後1-3日)から亜急性期(7-10日後)にかけて収集し、2群比較や相関分析等の統計解析を行います。 〔外部への試料・情報の提供〕 非該当 〔外部への提供開始日〕 非該当
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：非該当 情報：診療録(カルテ)から、年齢、性別、体格、バイタルサイン、血液検査結果等を収集します。
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用す	非該当

る学外の者	
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2028 年 3 月 31 日までにメール送信、電話等により下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学病院 救命救急科 担当者：准教授 苛原隆之 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又 1 番地 1 電話 0561-62-3311（内線 35371）メール t-irahara@aichi-med-u.ac.jp